

## 4 - 3 伊豆半島付近の地震活動（1982年12月～1983年5月）

Seismic Activities in and near the Izu Peninsula (December, 1982 - May, 1983)

気象庁地震予知情報課

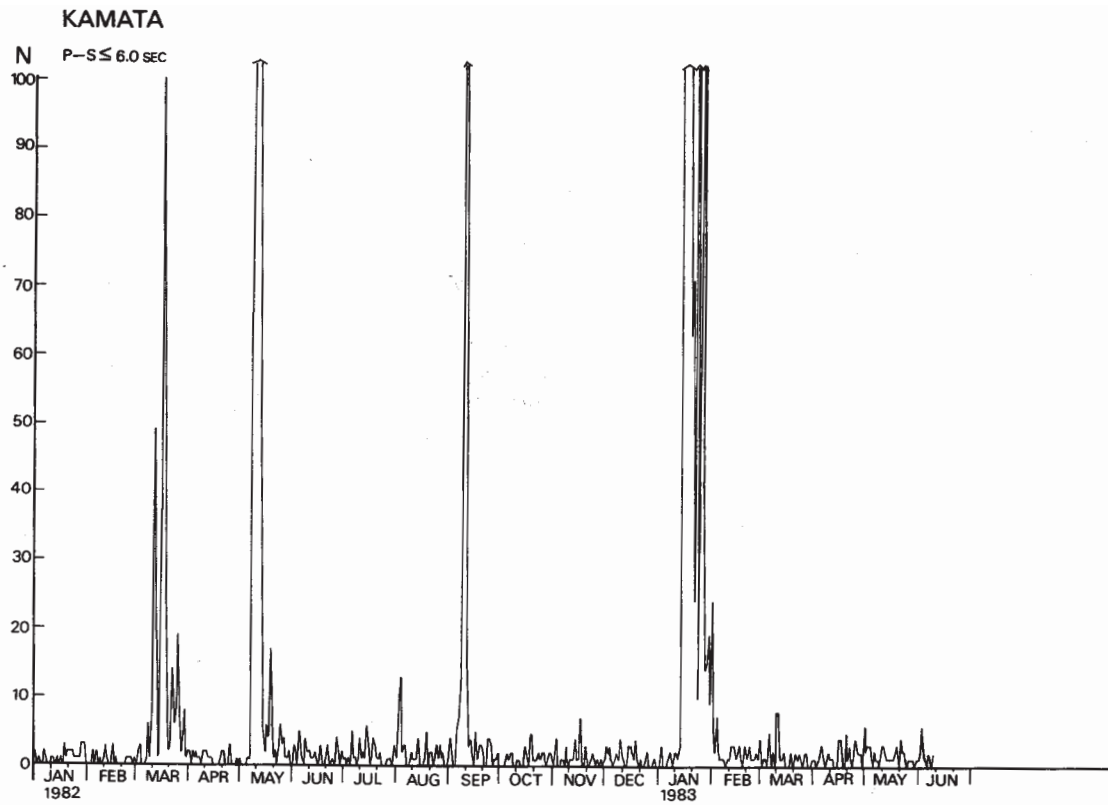
Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

第1図は伊東市鎌田におけるP～S6.0秒以下の地震の日別回数である。1983年1月14日頃から伊豆半島東方沖（伊東沖）で地震が群発しはじめ、16日昼頃からその活動は活発になり、有感地震も多く発生するようになった。この地域では、1982年3月、5月および9月にも群発地震活動があったが、今回の活動はこれらの活動に比べ、地震の数も多く、規模も大きくなった。

第2図は鎌田で観測された時間別・日別地震回数を示したものである。16日16時21分にはマグニチュード4.3が発生、大島、網代、館山で震度3を観測し、横浜、甲府、三宅島などで有感であった。また20日0時42分には、今回の活動の中で最も大きいマグニチュード4.5の地震があり、大島で震度3を感じたほか網代、東京、横浜などで有感であった。有感地震は16日から起こり始めたが、1月31日までに震度3の地震7回を含む計47回を数えた。第3図は1月14日から31日までに発生した地震の震央分布である。震源の深さはいずれも浅く20km以下であった。

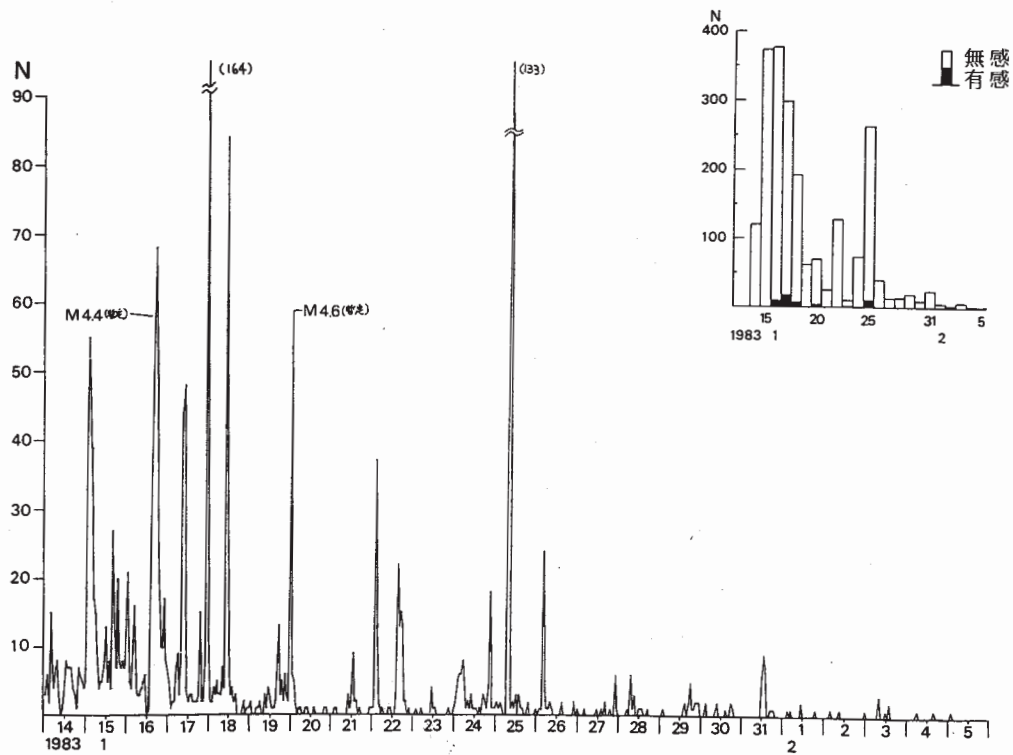
第4図はマグニチュード別度数分布である。図の白丸は、有感地震が起こるなど地震活動が活発化した16日12時以前の地震であり、黒丸はそれ以後20日までの地震である。マグニチュード2.0以下の小さい地震については、震源を決めてないものもあり比較できないが、マグニチュード2.0から3.0くらいのところで両者のb値に差がみられる。

伊豆半島付近では、この期間、上記活動のほか特に目立った活動はなかったが、3月10日から11日にかけて伊豆半島北部で数回の小さい地震があった。また3月17日には伊豆大島にマグニチュード3.5の有感地震が、4月15日には伊東沖にマグニチュード3.3の有感地震があった。



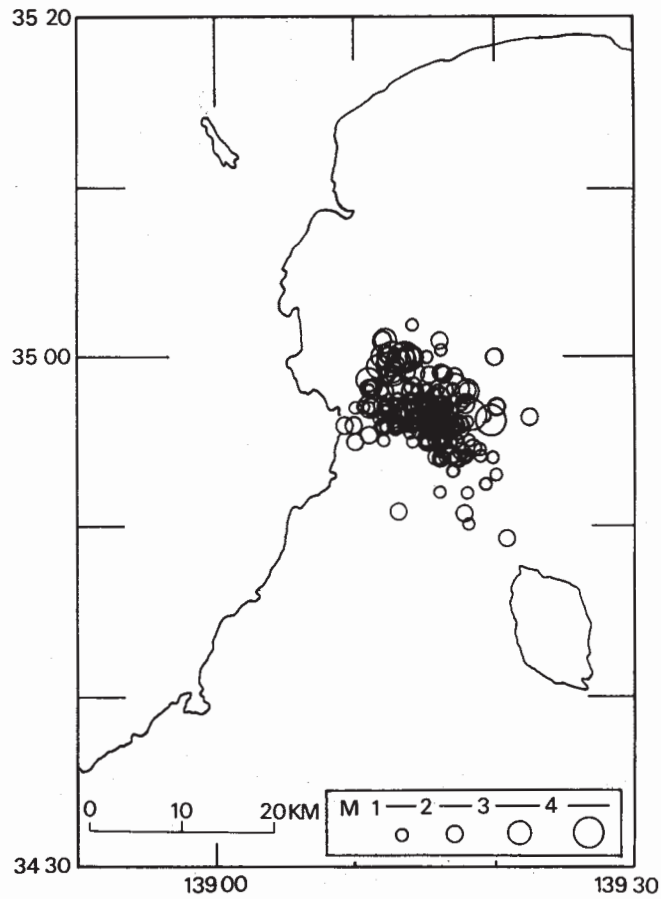
第1図 伊東市鎌田における日別地震回数 (P ~ S ≤ 6.0 秒)

Fig. 1 Daily number of earthquakes at Kamata (P - S ≤ 6.0 sec.).



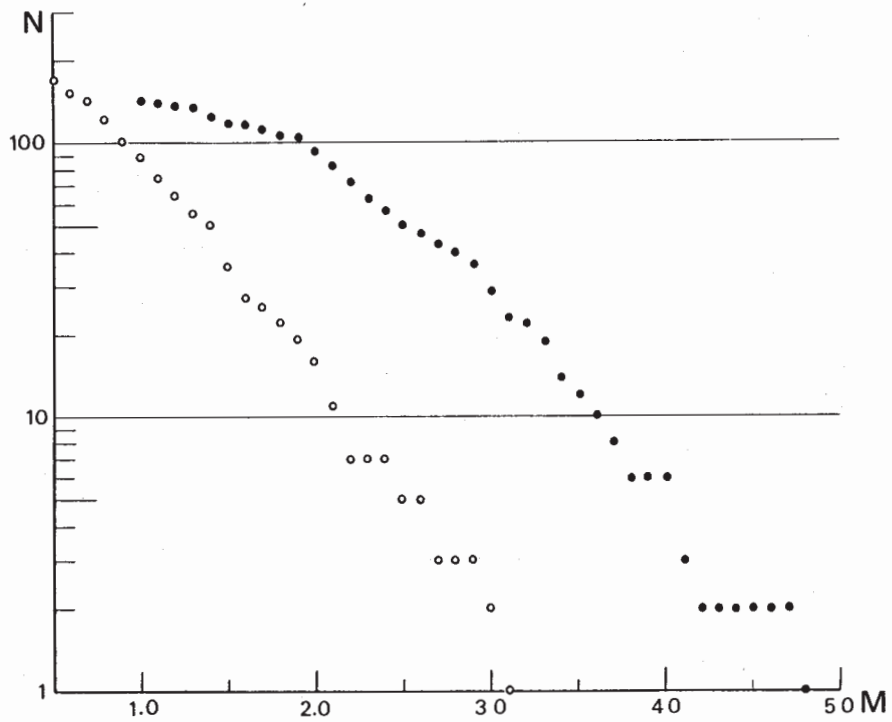
第2図 1983年1月伊豆半島東方沖の群発地震の鎌田における時間別・日別回数 (1月14日~2月5日)

Fig. 2 Hourly and daily number of earthquakes off the east coast of the Izu Peninsula observed at Kamata, January 14 - February 5, 1983.



第 3 図 1983 年 1 月伊豆半島東方沖の群発地震の震央分布 (1 月 14 日 ~ 31 日)

Fig. 3 Distribution of epicenters of earthquakes off the east coast of the Izu Peninsula, January 14 - 31, 1983.



第 4 図 1983 年 1 月伊豆半島東方沖の群発地震の規模別度数分布

Fig. 4 Magnitude-Frequency distribution for earthquakes off the east coast of the Izu Peninsula, January, 1983.

- : Earthquakes occurred between January 14 - 16.
- : Earthquakes occurred between January 16 - 20.